

「国民」が支える象徴天皇制

なぜ天皇制に終止符が打てないのか

天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめ直したいと、wam ではセミナーを企画してきました。敗戦時に、なぜ天皇制に終止符を打てなかったのか。リベラル左派と言われる人たちはなぜ平成天皇を好んだのか。天皇制を問うことが、なぜ今もなおタブーであり続けるのか。これらの問いは、「象徴天皇制」を「国民の総意」で支えてきた現実と深く関わっています。

第 13 回目は、日本の社会主義者や共産主義者がどう天皇制に向き合い、向き合えなかったのかを、戦中に生きた人の言葉や行動に焦点をあてながら、丁寧に記録・分析する研究を重ねてきた伊藤晃さんをゲストに迎えます。このグローバルな激動の時代に、「天皇・国民一体」思想はどのような変化を迫られるのか——。ふるってご参加ください。

日 時:2024年 2 月 11 日(日・休) 14:00~16:30

お 話:伊藤 晃さん

会 場:wam オープンスペース(定員 40 名/予約・先着順)

参加費:1000 円



*オンラインは翌日夕方からのオンデマンド配信になります。

申し込みは左記二次元コードから Google フォームで。wam 事務局にメールを
くだされば URL をお送りします。会場参加の場合は、電話での申し込みもできます。



【ゲスト紹介】 いたう・あきら

1941 年北海道生まれ。東京教育大学で日本史学を学ぶ。1971-2009 年千葉工業大学に勤務。日本近代社会主義運動史、労働運動史、天皇主義史を研究。1977 年に発足した運動史研究会で実質的な事務局を担い、雑誌『運動史研究』(1 号~17 号、1986 年で休刊)を発行した。

著書に『天皇制と社会主義』(勁草書房、1988 年)、『転向と天皇制 日本共産主義運動の 1930 年代』(勁草書房、1995 年)、『「国民の天皇」論の系譜 象徴天皇制への道』(社会評論社、2015 年)、共編に、加藤哲郎、井上學、伊藤晃『社会運動の昭和史 語られざる深層』(白順社 2006 年)など多数。

主催:アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)

東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACO ビル 2F 〒169-0051

t 03-3202-4633 f 03-3202-4634 wam@wam-peace.org

wam セミナー 天皇制を考える

wam は、「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)から20年の節目にあたって、2020年9月から天皇由来の「祝日」のうち4日間を「祝わない」ために開館することにしました。天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

■これまでのセミナー

第1回 2020年11月3日

テーマ: 叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」を結ぶもの—「明治節」に考える—
お話し: 池田浩士さん(京都大学元教員)

第2回 2021年2月11日

テーマ: 桜の国の悲しみ、菊の国への抗い—「紀元節」に伝えておきたいこと
お話し: 石川逸子さん(詩人)

第3回 2021年2月23日

テーマ: 「歌会始」が強化する天皇制—序列化される文芸・文化
お話し: 内野光子さん(歌人)

第4回 2021年4月29日

テーマ: 「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任～近年の研究成果から学ぶ
お話し: 山田朗さん(明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

第5回 2021年11月3日

テーマ: 近代天皇と家族の表象
お話し: 北原恵さん(大阪大学元教員)

第6回 2022年2月11日

テーマ: 近代天皇制がつくってきた差別—水平社宣言から100年を機に考える
お話し: 黒川みどりさん(静岡大学教員)

第7回 2022年4月29日

テーマ: 天皇と戸籍
お話し: 遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非常勤次席研究員)

第8回 2022年11月3日

テーマ: 撃ちてし止まむ!
お話し: 池田浩士さん(京都大学元教員)

第9回 2023年2月11日

テーマ: 天皇制と仏教
お話し: 源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

第10回 2023年4月29日

テーマ: 植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪(準備編)
映画上映: 『あんによん・サヨナラ』(監督: 金兌鎔、共同監督: 加藤久美子/2005年/107分)
アフタートーク: 南相九さん(東北アジア歴史財団研究政策室長)

第11回 2023年5月25日

テーマ: 植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪
お話し: 李熙子さん(太平洋戦争被害者補償推進協議会代表)

第12回 2023年11月3日

テーマ: 日本の近現代史からみる 天皇制と勲章
お話し: 栗原俊雄さん(毎日新聞専門記者)

会員になりませんか?

●友の会年会費: 3,000円 ●維持会員年会費: 10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号: 00110-2-579814

口座名称: 「わたしの戦争と平和人権基金」係

wam
アクティブ・ミュージアム

わたしの戦争と平和資料館
women's active museum on war and peace

開館時間: 金・土・日・月 13:00~18:00

2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため開館

休館日: 火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料: 18歳以上 500円

18歳未満 300円

小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051
T: 03-3202-4633 F: 03-3202-4634 E: wam@wam-peace.org
URL: https://wam-peace.org Twitter: @wam_peace

